

資源の動向 「低位・減少」

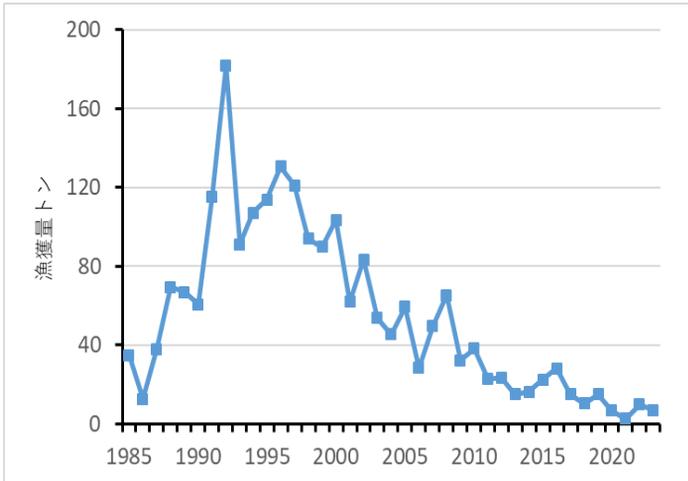


図 横浜市漁協柴支所のあなご筒漁によるマアナゴ漁獲量の年変化

本県の代表的な水揚げ地である横浜市漁協柴支所の漁獲量は1992年の約180トンをピークに減少傾向が続く。令和5年漁期は約7.1トンと過去最低の前々年は上回る見込みだが、動向は「低位・減少」と判断した。

対象漁業

主に東京湾

○あなご筒

○小型底びき網



生物学的特性

○分布: 北海道以南の各地

本県では沿岸の浅海の砂泥底

○移動: 漁獲サイズ(全長36cm)までの湾外への移動は少ない

○成長: 最低水温期に幼生で来遊後1年半で漁獲サイズ

○産卵場: 九州・パラオ海嶺

